

1. 産業標準案の番号及び名称

規格番号 JIS G1213

規格名称 鉄及び鋼－マンガン定量方法

2. 主務大臣

経済産業大臣

3. 廃止の理由等に関する事項**(1) 廃止の理由**

JIS G 1213:2001は、鉄及び鋼中のマンガン定量方法を規定したもので、2種類の定量方法を規定している。現行規格は、2001年に改正されて以降、約25年経過したが、この間、対応国際規格であるISO 629が改訂され、関係するJIS G 1201、JIS K 8001及びJIS K 8005が改正され、分析方法規格に要求される事項などが変化してきたため、技術的内容を見直す必要がある。

見直しにあたり、“複数の分析方法が規定されている規格を改正する場合には、分析方法ごとに部編成規格として制定する”とした、原案作成団体（日本鉄鋼連盟標準化センター 鋼材規格及び原料規格検討会）の統一見解に従い、新たに次のように2分割して制定するとともに、この規格を廃止する。

第1部：ペルオキシ二硫酸アンモニウム酸化しゅう酸ナトリウム・過マンガン酸カリウム逆滴定法

第2部：過マンガン酸吸光光度法

(2) 規格の移行先

G1213-1

G1213-2